



こんにちは とみさと議会です

発行／富里市議会
編集／とみさと議会報編集特別委員会
発行日／平成18年2月10日
住所／〒286-0292
千葉県富里市七栄652-1
TEL.0476-93-1111
FAX.0476-91-3595

第149号



経済環境建設常任委員会視察（宮崎県高崎町）



総務常任委員会視察（香川県坂出市）



教育福祉常任委員会視察（福岡県筑紫野市）

12

平成17年

月定例会



可決した議案……………	2
みなさんからの請願・陳情……………	5
一般質問……………	6
議員研修……………	12



平成18年4月1日から3施設を 指定管理者制度に移行

12月定例会は、11月29日から始まり、12月15日まで17日間の会期で開かれました。市長から議案一八件、諮問一件が提出され、それぞれ原案どおり可決、答申しました。また、議員から提出した発議案三件についてもそれぞれ可決しました。一般質問は12人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

可決した議案

指定管理者の指定について

地方自治法第二四四条の二第六項の規定により指定管理者の指定をするものです。

富里北部コミュニティセンター

(指定管理者)

富里北部コミュニティセンター管理運営委員会

(賛成多数)

中部ふれあいセンター

(指定管理者)

中部ふれあいセンター管理運営委員会

(賛成多数)

地域福祉センター

(指定管理者)

社会福祉法人 富里市社会福祉協議会

(賛成全員)

質疑

問 市民に対する周知は。

答 市ホームページにて、制度の概要と導入方針を掲載しています。

問 委託料が発生しない理由

答 従前から管理委託を行っていて、委託料の支払いをしていません。

市長、助役及び収入役並びに教育長の給料の特例に関する条例の一部を改正

(賛成全員)

四役の給料を平成15年12月から二年間にわたり二%に相当する額を減額してきましたが、平成18年11月までの一年間について、市長は五%に相当する額を、助役及び収入役は三%に相当する額を、教育長は二%

に相当する額をそれぞれ減額して支給するものです。

市職員の給与等に関する条例の一部を改正

(賛成多数)

人事院及び千葉県人事委員会の勧告にかんがみ、市職員の給料月額を平均〇・三%引き下げ、配偶者に係る扶養手当の月額を五〇〇円減額し、勤勉手当の年間総支給月数を〇・〇五ヶ月引き上げるものです。

市道路線の認定について

(賛成全員)

開発行為に伴う七路線及び立沢台団地内の道路移管に伴う二路線を市道として認定するものです。

市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正

(賛成多数)

平成19年4月から市立幼稚園の保育料の月額を六千円から七千円に改定するものです。

質疑

問 保育料の値上げについて

答 10年ごとに料金改定を検討してきて、私立幼稚園

との格差の調整も含めた値上げで、4月入園の方々に周知徹底したい。

市特別会計設置条例を制定

(賛成全員)

特別会計を整理し、事務の合理化を図るため、学校給食センター事業特別会計を廃止し、下水道事業及び公共用地取得事業特別会計を一本化し、新たに予算の

弾力条項に関する規定の整備を行う条例を制定するものです。

質疑

問 事務の合理化のメリットについて

答 普通地方公共団体の場合、特別会計については、消費税が対象となり申告義務等が発生しますが、一般会計にすることにより、その必要がなくなります。

長期継続契約を締結することができると定める条例を制定

(賛成全員)

地方自治法及び地方自治法施行令の一部改正により、長期継続契約を締結することができると定める条例が拡大されたため、長期継続契約を締結することができる契約を定める条例を制定するものです。

質疑

問 長期契約のメリットは

答 年度開始前の3月中に契約を締結することができる

などの事務合理化、効率化を図ることができます。

財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正

(賛成全員)

地方自治法第二二三条の二ただし書の規定により、決算剰余金が生じた場合に、財政調整基金に編入できるよう所要の条例改正を行うものです。

集会施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例を制定

(賛成多数)

施設の利用実態や地域住民の利便性などを考慮し、青年館や地区集会所一四施設について、本年度をもつて公の施設としての位置付けを廃止するものです。

火災予防条例の一部を改正

(賛成全員)

火災警報発令中における火の使用の制限として、山林、原野などの場所です長が指定した区域内においては、喫煙を制限する旨の規



市道認定現地調査（七栄地先）

立花廣介議員に対する問責決議について

(賛成多数)

定を設け、また、ボイラーの蒸気管を被覆する遮熱材料の例示から石綿を削るなど、所要の整備を行うものです。

市議会会議規則の一部を改正する規則を制定

(賛成全員)

地方自治法に規定する議会運営委員会の所管事項に関する請願について、議会運営委員会へ付託し、審査することができるようにするための改正のほか、文言の整理等をするものです。

人権擁護委員に坂田啓一氏

(賛成全員)

人権擁護委員の坂田啓一氏の任期満了に伴い、同氏を再度推薦するため、議会の意見を求められたものです。



移設となる仮庁舎事務室

可決した補正予算

一般会計 (賛成多数)

一般会計補正予算(第五号)は、歳入歳出それぞれ一億九千万円を追加し、総額を一二億六、九五八万円とするものです。

〔主な歳入〕 地方交付税七、三七五万円、障害者支援費居宅生活支援事業国庫補助金九〇二万円、重度心身障害者(児)医療給付改善事業費県補助金二六九万円、障害者支援制度事業県補助金四五一万円、財団法人自治総合センターコミュニティ助成金二二〇万円、減税補てん債二、〇七〇万円などの増額及び地方特例交付金八一〇万円、土地区画整理事業国庫補助金三〇〇万円、七栄新木戸地区土地区画整理事業債一七〇万円、臨時財政対策債四七〇万円などの減額です。

〔主な歳出〕 財政調整基金積立金一億一、八八三万円、仮庁舎事務室移転関係経費二、三二四万円、コミュニ

ティ助成事業補助金二二〇万円、重度心身障害者等医療費五三九万円、障害者支援費支給事業一、九九三万円、介護給付費繰入金一、〇〇五万円、畑地排水路整備工事補助金一八八万円、側溝清掃及び除草委託料三六五万円などの増額及び特定疾患見舞金七〇七万円、七栄新木戸地区土地区画整理事業北新木戸地区内工事六〇〇万円、下水道事業特別会計繰入金五一〇万円、学校給食センター事業特別会計繰入金一、〇六八万円、職員給与等六、四八五万円などの減額です。

質疑

問 障害者自立支援認定調査事業の内容は。

答 試行的に障害程度区分認定調査員に、在宅障害者の状況を訪問調査し、障害程度区分を認定し、サービスの給付認定の情報収集を実施しているものです。

問 図書館運営事業の記念事業の一〇〇万人入館者記念

の概要は。

答 来年2月頃に突破すると見込まれる予測のもと、機械のカウントを見ながら職員による黙視にて対応し、記念品と記念書の贈呈等を考えております。



まもなく100万人(図書館)

学校給食センター事業特別会計 (賛成全員)

学校給食センター事業特別会計補正予算(第二号)は、歳入歳出それぞれ八九九万円を追加し、それぞれ四億三、七六九万円とするものです。

〔主な歳入〕 一般会計繰入金の減額及び繰越金の増額です。

〔主な歳出〕 一般管理費の

減額及び給食事業費の増額です。

質疑

問 委託料が当初予算三八千円のところ大幅に増額になっているが。

答 給食費の口座振替機能のプログラム作成委託料と納入通知書の機能の追加プログラムの作成観点から六八万三千円計上したものです。

国民健康保険特別会計 (賛成全員)

国民健康保険特別会計補正予算(第二号)は、歳入歳出それぞれ二、五七一万円を減額し、それぞれ三八億九、五一四万円とするものです。

〔主な歳入〕 基金繰入金の減額及び一般会計繰入金の増額です。

〔主な歳出〕 一般被保険者療養費負担金及び退職被保険者高額療養費負担金等の増額並びに老人保健医療費拠出金等の減額です。

介護保険特別会計

(賛成全員)

介護保険特別会計補正予算(第二号)は、歳入歳出それぞれ八、〇四二万円を追加し、それぞれ一四億九、二八一万円とするものです。

〔主な歳入〕保険料及び国庫補助金の減額並びに国庫負担金、介護給付費交付金及び市債等の増額です。

〔主な歳出〕施設介護サービス給付費負担金及び高額介護サービス費負担金の増額です。

質疑

問 財政安定化基金貸付金の借り入れ条件と主な使い道について。

答 利率は無利子で平成15年度から17年度までの第二期介護保険計画期間の不足に対するもので、返済は平成18年度から3年で、使途としては保険給付費に充てるものです。

水道事業会計

(賛成全員)

水道事業会計補正予算(第二号)は、収益的収入及び支出並びに資本的収入及び支出について補正するものです。

収益的収入は、営業外収益を五八万円増額。収益的支出は、営業費用を二六万円、営業外費用を三二万円減額するものです。

資本的収入は、企業債を一、二四〇万円、国庫補助金を六〇万円、出資金を五八万円減額。資本的支出は、建設改良費を三五万円、企

業債償還金を一、二三六万円減額するものです。

下水道事業特別会計

(賛成全員)

下水道事業特別会計補正予算(第三号)は、歳入歳出それぞれ七〇万円を追加し、それぞれ八億六、〇八七万円とするものです。

〔主な歳入〕分担金及び負担金の増額並びに一般会計繰入金の減額です。

〔主な歳出〕一般管理費の減額及び下水道整備費の増額です。



充実する下水道整備

みなさんからの

請願・陳情

陳情(継続審査)

◆武州墓奥の新規墓地造成反対に関する陳情書

十倉台団地自治会
区長 斎藤祐二 外五名

◆公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保等に関する陳情書

石川 健一

意見書を提出

◆議会制度改革の早期実現

に関する意見書

(提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

お詫びと訂正

第一四八号(平成17年11月10日発行)の五ページの教育委員会委員名に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) 河田敦子氏
(正) 河田厚子氏

印旛管内市議会

議員合同研修会

平成17年度印旛管内市議会議員合同研修会は、10月20日(木)佐倉市内のホテルにて政治ジャーナリストの角谷浩一氏を招き開催されました。

演題は「第三次小泉内閣の課題」で、主に9月11日(日)に行われた衆議院議員選挙の結果について、角谷氏の持論を聞かせていただいた。

現在、小選挙区制により二大政党等の与党、野党に分かれての選挙戦において、小泉首相率いる与党が圧勝した原因と、議員が激減した野党の選挙戦術の違いの解説があり、今の選挙制度は圧勝又は惨敗が起り得る制度であり、

今後もありえる弱点であり、利点でもあるとのことでした。

今後の政治はどうなるのかという点では、従来、政治は保守か革新かの五五年体制になっていたが、これからは超党派で話し合いをしていくべきであるとの与党の政調会長の発言を引用し、ポスト小泉は、「戦う人、民意に従う人です」と強調していました。

(猪狩一郎 記)



問 葉山保育園の周辺整備をするべきでは

答 水路の蓋かけを早急に実施したい

秋本真利議員

問 保育園建設に併せ周辺道路整備や危険な水路に蓋をできませんか。

答 議員に以前から指摘されていた水路の蓋かけは早急に実施したい。

問 新葉山集会場に関する要望が出てるが福祉課でやって頂けませんか。

答 覚書の協議が不足していた。

『基盤整備について』

問 適正開発に資する条例が必要だ。

答 指定場所を踏まえ将来に向けて都計審を使い条例化を進めたい。

問 市有財産である物件に補償金を支出したが違法ではありませんか。

答 再三指摘されてはいるが前から決まっていた事で今後もやる。

『最終処分場について』

問 クリーンセンターは成田に移りますが、自己搬入先としては遠い。

市内に搬入先を設置できませんか。

答 確かに自己搬入は多いので検討。『指定管理者制度について』



園児のためにも対策が必要

問 コミセンまつり等の自主事業予算は担保してもらえるのですか。

答 担保はない。地元にも説明する。

問 地区集会場の建替え費の担保は。

答 先の事は不透明でわからない。

問 条例に不備があるのではないか。

答 不備があるのは認める。

『市長公約について』

問 市長は当選後に箱物だけで一億も使っているが精査するべき。

答 どうしてもやらねばならない。

問 「事業仕分け」の実施は

答 一つの手法ととらえ検討

江原利勝議員

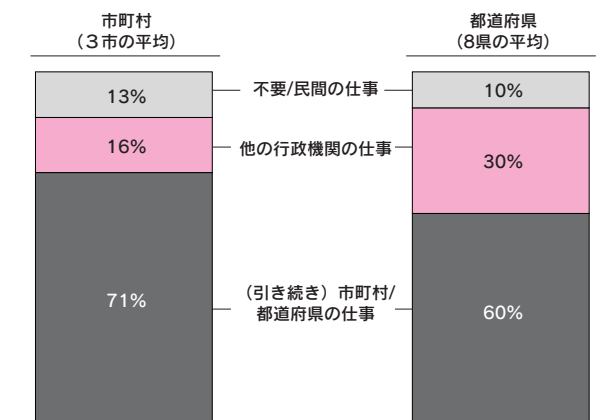
問 税金のむだ使いを一掃して、大胆な歳出削減を行うため、行政の仕事の洗い直す「事業仕分け」作業が、千葉県で11月行われた。これまで八県五市の自治体で実施されていて、外部からの視線でチェックを行い、約一割の事業が行政の仕事として必要ないと判断されています。市の取組は。

答 行政改革を推進する上で一つの手法であるのととらえ検討します。

『有料広告導入について』

問 公共性や正確な情報が求められる広報紙への有料広告は、財政再建の一助で、更に難しい財政運営を乗り越えるため、自治体で導入が始まっています。市のさまざまな資産を活用し、積極的な広告事業の推進による財源の確保について。

自治体の「事業仕分け」のまとめ
(歳出ベース)



(「構想日本」資料より)
約1割は不要・民間へ

保を図ることから貴重な収入源として調査研究します。

『生涯スポーツ振興について』

問 10月10日「体育の日」は、スポーツの祭典として、市民体育大会が開催されてきたが、この二年間は雨天にて中止になっています。今後の取組は。

答 各学区及び団体からの意見を集約し検討します。

問 南小学校用地・国有地の払い下げを

答 絶好の機会と考え検討する

柏崎のり子議員

問 南小学校の用地・二一、一五九㎡が国有地です。大正12年、宮内省と無償借地契約締結。大正15年、現在地に校舎新築移転し、昭和22年、富里南小学校となりました。

昭和22年、大蔵省所管となり、平成7年3月まで無償貸付契約締結。平成7年4月から平成18年3月まで有償貸付契約締結とし、この間の国有地貸付料は合計一、九

六七万六千円、年間約一七五万円を国に支払っています。義務教育無償の原則から、私は関東財務局に要請してきました。

既に八三年もの経過が流れていることから、国に払い下げを求めて精査すべきです。

答 国の定める基準により減額措置で借りている。今後減額譲渡も含め関係機関と協議検討する。

問 このまま九〇年も一〇〇年も精査しないのでは行政の汚点になります。国有財産特別措置法第三条では地方公共団体等に対し時価からその五割以内を減額した対価で譲渡、貸し付ける法律があります。地価下落の著しい今、真剣に検討する時期であり大変得策と考えます。学校設置者である市長の見解を示してください。

答 確かに絶好の機会と考え、起債等も検討する。



83年も国有地のまま（南小）

問 清掃工場の運転管理の契約は

答 今後入札を視野に入れ契約方法を検討

栗原恒治議員

問 市役所内においても18年度は二社以上の見積りを取るよう指示されているところですが、クリーンセンターにおいても18年度は入札が望ましいと考えますが。

答 15年度に六社指名による競争入札の結果、日立造船(株)が落札し、その後随意契約により現在に至っておりますが、今後、入札を視野に入れた契約方法を検討してまいります。

『雨水調節池について』

問 一の二号調節池用地は三年が経過しているが買収が進まず、工事着手できないでいる。排水施設を望む多くの農家の声を聞くとき、設計変更をしてでも、一日も早く着工しなければならないと思うが。

答 県に対し買収地内での工事を実施するよう働きかけてきたが、その結果、県は17年度末を限度に交渉し、だめなら設計変更をして18年度には一の一及び一の一の二号調節池を同時着工すると聞いています。



買収の済まぬ1の2号予定地

『北総中央用水に関係して』

問 地域用水型事業の同意は受益指定農地の同意につながるのか。

答 国営事業の計画変更が17年度中に確定予定であり、それを受けて県営畑総整備事業も計画変更、同意徴収は18年度以降とのこと。

問 国際交流協会の事務所が会長宅ですが

答 検討中、もう少し待ってほしい

窪田 優議員

問 富里国際交流協会は、富里高校ジャズバンド「ザ・マッド・ハッターズ」と米国モントレールの高校生とのジャズフェスティバルの開催や市内にある三中学校生徒の米国ホームステイ体験ツアーの引率、外国人との交流事業、英会話など語学講座の運営など、富里市の国際化に貢献している団体ですが事務所としては会長の自宅になっています。このことについて市はどう考えているのか。

答 交流協会は充実していて市としても大変ありがたいと思っています。活動場所については他の団体との兼ね合いもあっていろいろな意味で検討を重ねている。

問 今年3月に担当課を訪ねて早速な検討をお願いしているのにまだ「検討中」とは情けない。我孫子市の場合、一九九四年に事務所を市役所から「我孫子市民プラザ」



富里国際交流協会の活動風景

に移して活動しています。富里も市役所ではなく休日でも集える場所を希望したい。

答 行政施設を民間団体に場所提供するのは問題があります。コミセンなどの場合、他の利用団体の理解が得られるかの問題もある。市長として、「ぜひ場所を探してやりたい」と思っているのでもう少し時間をください。

問 小学校の卒業記念品に英和辞典を

答 英和辞典の学校配置を検討します

伊藤澄雄議員

問 これまで、長年にわたり教育委員会より市内の小学校に卒業記念品として英和辞典を贈呈してきました。本年度は予算計上されておられません、富里の次代を担う子供達にとって英語学習の基本となる参考書と考えます。教育長の方針と見解をお伺いします。

答 記念品についてでございますが、例年小学校に英和辞典を贈呈しておりましたが、財政状況が大変厳しい中で、教育委員会の予算配分を行うにあたり優先順位を考慮した結果、本年度から贈呈しないことにいたしました。

問 平成16年度の予算で市内の小学校に卒業記念品として贈呈された冊数及び支出額についてお聞きます。

答 平成16年度の卒業記念品の辞典ですが、合計で四九七セット、金額は約四九万七千円です。

今後は英語学習に支障を来すことのないように、英和辞典の学校配置を検討しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。



A L Tの指導による英語学習

問 学校等の防犯対策について

答 地域の安全が高まる連携を深める

櫻井優好議員

問 教職員の防犯・防災に関し危機意識の理解度が欠如していないか。

答 具体的な仕事内容を想定した対策として、文部省の「学校危機管理マニュアル」を活用のうえ事態に備えた学校独自のマニュアルを作成し、教職員の役割分担を明確にしております。また、地域との

情報ネットワークについては常に地域住民からの情報収集のために学校をはじめとする家庭、地域の関係機関で構成される学区のパトロール隊や防犯組織が互いに情報交換し合いながら対応策を講じているところですが、地域の安全が高まるよう更に連携を深めるよう各学校に指導してまいります。さらに、防犯対策に関する問題意識については、現在学校で防犯訓練を実施するとともに、学校外で行われる研修会に教員が参加するなどして危機意識の高揚に努めているところです。しかしながら緊急時に迅速・明確に対応するためには児童生徒の自己防衛力を高めるとともに教職員一人一人がそれぞれの役割を共通理解し、行動できるようにすることが必要であることから今後も適切に指導してまいります。

子供たちが作った防犯マップ



問 地震等防災対策は

答 防災体制の強化に努めたい

佐藤繁夫議員

問 最近、地震の発生予想、被害の予想等ニュースで取り上げられる機会が多くなっています。

答 他市町村では、地域防災計画等に基づき、防災訓練等作業を行っているようですが、富里市の場合、訓練等余り行わないので、これによいのかと思います。

市民と市が一体となった防災対策について、食糧、飲料水、医薬品、その他、備えと対策についての考えをお聞かせください。

答 地震等防災対策については、富里市地域防災計画に基づき、順次食糧等の備蓄を進めています。

また、災害時において飲料水、生活必需物資・資機材などについて相互に供給体制がとれるように「災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定」を締結していますので、有効に活用したいと考えています。



倉庫にある備蓄食糧

防災対策については、市のホームページや広報紙により住民に対して避難場所の周知や防災に関する啓発を図っています。

なお、職員を対象に震度五強を想定した自主参集訓練、初期消火訓練防災資機材習熟訓練等実施していますが、市と市民が一体となった防災訓練についても検討したいと考えています。

問 安全で安心なまちづくり条例の制定を

答 関係条例制定に向け、調査・研究する

中野信二議員

問 防犯関係の条例等制定はどうか。

答 条例等はない。防犯指導員連合会会則を定めている。

問 平成16・17年度の防犯対策の取組はどうなっているか。

答 防犯灯未整備地区への設置や修繕、区・自治会の防犯灯設置・修繕・電気代等の補助、違法看板の撤去、注意看板設置、防犯団体への研修会などを実施している。

問 防犯指導員や防犯パトロール隊に対する市の支援策は。

答 市防犯指導員連合会への補助金支給、違法看板撤去活動費の補助、制服貸与を行っている。

防犯パトロール隊は、自主的に活動していると認識している。

問 市で青色回転灯装着車を整備し、住民組織に貸し出す支援策を実施すべきではないか。

答 市民への貸与は、その方法も含めて検討したい。

問 「地域防犯情報センター」設置

2 安全なまちをつくるために

防犯・防災対策事業や交通安全対策事業を重点的に実施し、犯罪を未然に防止するとともに、災害に強い安全性の高いまちをつくります。

施策 5 防犯対策の推進

地域ぐるみで防犯意識の高揚と防犯体制づくりに努め、安全に暮らせるまちづくりを目指します。

【市有防犯灯整備事業】

犯罪が急激に増加している社会背景から、市内における防犯灯未整備箇所や未整備地区について、夜間における犯罪を未然に防止するため、必要箇所に防犯灯を順次設置し、犯罪が起きにくい環境を整備し、犯罪のない安全なまちづくりを推進します。

(資料：富里市「重点実施プラン」)
(平成17年度～平成19年度)

防犯灯のみで市民は守れるか

の強い要望に応じてほしい。

答 早急な施設設置は困難。

問 「安全で安心できるまちづくり条例」を早急に制定し、安全で安心できる富里市実現に努めるべきではないか。

答 関係条例の制定に向け、調査・研究に努めていく。

問 富里市の行政改革について

答 より効率的な行政運営に努める

鈴木英吉議員

問 現在行われている改革は、庁内の改善にすぎない。本来改革とは、組織の体質そのものを変えることだと思います。

国道四〇九号と日吉台方面を連絡する幹線道路の整備は。

答 重要な道路であるので、区画整理事業の進捗状況を見て整備に向けて検討を進める。

問 交通広場と公園の計画は。

答 鉄道駅のない本市の公園とバス停との共生を実現するため、三台分の高速バスの発着所を中心に、一〇〇台の駐車場を確保し、公園は住民参加のワークショップを開催し、公園計画を進めている。

問 交通広場のベイシアとの契約は。

答 平成17年12月6日から平成18年1月31日まで臨時駐車場として契約している。

問 富里市の将来の方向は。

答 今後は歳入の確保や経常経費の節減はもとより、事務事業の

見直しや市民との協働のまちづくりにについても積極的に取り組んでいく。

『市長の公約の英会話について』

問 市職員に対する英会話の推進は。

答 職員の国際対応能力を向上させるため、研修を行っている。

問 国際交流協会の今後について。
答 外国人との一層の交流の拡大や関係団体との連携を深めていく。



交通広場と公園の完成は？

問 焼却から最終処分までの広域化を

答 経緯があり変更は難しい

立花廣介議員

問 成田市との当事業を、中間処理に限定することは、広域化の意味を半減させ、将来長きにわたって大きな経済的損失を生み続けることになるかと私は認識しています。

今からでも両市長が腹を割って話し合い、焼却から最終処分までを広域化するように、計画の軌道修正をすることが両市にとって望ましいものかと考えるが市長にその考え

はないか。

答 最終処分までの広域化については今まで成田市と協議して来た経緯を踏まえますと変更は難しいと考えています。

問 今後の財政支出と市財政に与える影響について聞きたい。⑦焼却施設⑧最終処分場・リサイクルプラザ⑨進入路等インフラ整備⑩住民対策の概算と国、県の支援は。

答 現段階の建設費の概算は、焼却施設の市負担分約二七億円、最終処分場約一八億五千万円、リサイクルセンター約一〇億円です。建設費は国の交付金、限度額三分の一以下。

これらの施設は起債の対象となります。進入路等のインフラ整備費は現段階では試算していません。周辺対策については、周辺住民の意見を聞き、それからを踏まえて検討していく所存です。



最終処分場建設予定地の一部

問 通学路の安全性を確保せよ

答 交通安全施設などの設置を進める

猪狩一郎議員

問 学校入口付近の道路の両側及び交差点に車両事故防止のためのガードレールが必要と思うが。

答 歩行者の安全確保は非常に重要であると認識しており、「スクールゾーン」又は「通学路」の路面表示や同様の趣旨の警戒標識等を順次整備しているところです。

今後ガードレールを含めた交通安全施設などの設置を進めます。

問 通学時の事故防止について学校側の対応は。

答 子供たちには決められた通学路を守り、常に徒歩通学は安全帽子、自転車通学はヘルメット着用を義務付けています。

問 生徒たちの親権者の対応は。

答 学校と保護者が連携を密にした校外指導が実践されており、多くの学校で地域ボランティアのご協力をいただいていることを感謝しています。



車両事故から学童を守ろう

『住民満足度を満たしているか』

問 区長会が24時間対応の病院誘致要望を出された件の対応は。

答 9月27日付けで、知事に対し誘致について要望をいたしております。今後、誘致に向け取り組みでまいると考えています。

問 北部地区に保育園の設置は。

答 保育需要を把握しながら、検討を続けてまいりたいと思います。

その他の一般質問

秋本真利議員

・図書館運営について

柏崎のり子議員

・学校給食の民間委託と施設改善について

窪田 優議員

・富里市の事業の精査を

伊藤澄雄議員

・根本名学童クラブ周辺に防犯灯の設置を

・根本名地区の市道排水対策工事について

櫻井優好議員

・行財政関係について

・福祉関係について

佐藤繁夫議員

・保育園建設に伴う地元要望について

・企業誘致促進について

中野信二議員

・入札制度の改革

総務常任委員会視察

総務常任委員会は、10月17日から19日にかけて、香川県坂出市、兵庫県相生市・宝塚市を視察研修してまいりました。

坂出市では、消防緊急通信指令システムに高齢者や障害者等の登録をし、緊急支援や事故発生時における一次的対応や、大規模災害時等の二次的対応の支援等のための一九番登録制度です。富里市も来年度入れ

かえる通信指令システムには、取り入れたい制度でした。

相生市では、住民の意見をいかに行政に反映させるかというパブリック・コメント制度を研修しました。

改めて市民と行政のパートナーシップの大事さを勉強しました。

宝塚市では、富里市より厳しい財政の中、システム改革に取り組んでいるさまを見てまいりました。

我が市より規模的に大き



(杉山治男 記)

な市ですが、財政再建団体にならぬよう、ありとあらゆるものの見直しです。職員の方の輝きが違います。行財政改革の大きな収穫となりました。

教育福祉常任委員会視察

教育福祉常任委員会は10月24日から26日まで福岡県筑紫野市、佐賀県鳥栖市及び、長崎県大村市を視察しました。

筑紫野市では平成9年文部省「生涯学習モデル市町村事業」として生涯学習ボランティア講座が始まり、各分野で経験、知識を持ち、支援、協力しようと意欲のある人や団体を募集し登録して生涯学習ボランティア紹介事業を展開していると

のことです。

鳥栖市は人口約六万人、平成12年以降も小学校就学前人口が伸び続けているとのこと。保育所が公立五、私立五の一〇施設。乳幼児医療に市単独事業で、三歳以上入学まで、入院に対する医療費助成を実現。

大村市は高齢者福祉、介護予防として「シルバークラウドアップ事業」が展開されています。介護保険の第一号者を対象にトレーニングルーム、プール等の利用料を減免し、年齢や体力に



応じたメニューを利用してもらい、結果的に介護給付費の抑制と保険財政の節約を期待できるとしています。

(窪田 優 記)

経済環境建設常任委員会視察

経済環境建設常任委員会は10月11日から13日まで宮崎県高崎町、鹿児島県鹿児島市と出水市を視察しました。

高崎町は合併を控えた中で最終処分場を新設しました。

当初、ほかの町では敬遠していましたが、クローズドシステムの処分場を見て施設のすばらしさに驚いたそうです。あいている場所

は、インドアスポーツに利用されていました。また、住宅地の中心に設置されていたが、住民には理解されています。

鹿児島市では、土地区画整理事業の中で吉野地域を視察しました。戦後、復興の継続で行われている場所もあり、豊かな財源で着実に進んでいます。

最後の出水市は、農業関係ですが、農家の割合が少ない中で振興に努力していました。

(鈴木英吉 記)



議会運営委員会視察

議会運営委員会は10月31日から11月2日までの三日間、習志野市、北海道帯広市及び旭川市を訪問し、議会運営について視察を行いました。

習志野市の一般質問は昭和54年から一問一答方式を導入し、会派持ち時間制による時間算出で、関連質問も会派持ち時間の残り時間内とされ、議員と執行部に緊張感が増し、市民によりわかりやすい議会を目指

す取組でした。

帯広市の質問通告提出期限は、議案説明の本会議終了後20分以内として質問順位を抽選し、質問回数は三回で、それぞれ二〇分の制限がありました。

また、「北の屋台」事業として、市民団体からまちづくりの論議がされ、中心市街地の活性化が図られていました。

旭川市の防災備蓄は、公的備蓄と市内大型店舗と災害時の応急生活物資の供給に関する協定が締結されて



いてさらに、冬期間の地震対策に簡易浄水器、水槽など昨年の新潟中越地震を踏まえた備蓄が取り組まれていました。

（江原利勝 記）

空港対策特別委員会視察

空港対策特別委員会は、平成17年12月19日及び20日の両日、中部国際空港と東海市を視察しました。

中部国際空港（セントレア）は今年2月17日に日本で五番目の国際空港としてオープンした本格的な海上空港で、24時間運用可能であります。特徴としては誰もが使いやすい機能が備えられていること、アクセスに関し情報機能が充実している施設であり、一番

は旅客ターミナル内に個性豊かな店舗など伊勢湾を望む展望レストラン、結婚式ができるなど空間利用が整っています。

また、東海市役所に訪問し、空港に起因する経済波及効果について伺ったところ、大手企業の進出などによる効果が近年税収増などに顕著にあらわれ、土地の手当てに間に合わない状況にあると、各種の計画に忙しい毎日を過ごしている説明など受けました。

（櫻井優好 記）



バス運行・究極はまちづくり

都市基盤整備調査特別委員会

11月7・8日に長野県飯田市と八王子市を視察しました。

飯田市ではバス利用者が激減したため、バス会社は路線を廃止しました。市は廃止代替路線と新設の市内循環線を検討し、平日のみ試行運転を開始。現在では運行を大幅に拡充し、超低床バス導入、循環線は一日二一本に、山間部路線も増

便し、土・日曜日も運行し、どこでも停車し、喜ばれているとのこと。

担当課長は、バス運行はまちづくりです。山間部は採算が期待できないが循環線はまだまだ伸びる。駅からの「8時の帰宅便」、金曜限定の「10時の帰宅便」を試行運行中。実際に利用してもらいたい人をターゲットにしていると、営業マン的発想で意欲的に取り組んでいました。

八王子市は、ものづくり産業、商業、物流系産業、



事務所の種別で立地促進地域を定めています。新増設した企業を対象に納めた税金の一部を事実上、返還する“いきいき企業支援条例”は三ヶ年にわたり交付とのこと。

（柏崎のり子 記）

新最終処分場調査研究特別委員会視察

11月15日及び16日にかけて、長野県塩尻市・朝日村のオープンシステム最終処分場と東築摩郡山形村のクローズドシステム（屋根付）最終処分場を視察しました。

朝日村に建設中の処分場は12月に完成予定。埋立容量は四万二千 m^3 で富里市の予定容量は三万七千 m^3 とほぼ同規模でした。

場所の選定が二転三転し、

計画から着工まで一二年かかり、建設費・用地費等で一六億二千万円。周辺対策費に約二億円。そのうちの水処理施設建設に六億円がかかったそうです。

また、山形村は平成9年に日本で最初に建設されたクローズドシステムで、八期間で埋め立てが終了し、二期目の施設が隣接して建設されていました。埋立容量三、四六〇 m^3 と富里市より小規模ですが建設費は約三億一千万円。水処理施設は四三 m^3 でこの八年間使用

したことがなく、二期目もそのまま使うそうです。最終処分場は、地域との融和、安全、安心が大きな課題だと考えます。

（高橋益枝 記）





寒中に咲くビワの花（七栄）

議会を傍聴しませんか

3月定例会は
2月28日(火)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎1階）のテレビでも
ご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど
皆様のご意見をお待ちしております。
また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。
〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
TEL.0476-93-1111 FAX.0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

師走に入り、雨も少なく、暖冬から一変、寒気の続く中、12月議会も終わり、編集委員会の開かれる時期です。

10年目にして初めて委員となり、大変さを感じている昨今です。

一番大変なのは、質問と答弁を素直に表現せず、ややもすると過大評価して、一般質問をまとめることが多々あり、修正するのに大変苦労するようです。

16年度決算では議会報印刷製本費217万8千円、新聞折込手数料90万7千円をどう削減していくのかも、今後の課題となっております。

いずれにせよ、事実を皆さんに伝える努力をしてみたいです。

（栗原恒治 記）

とみさと議会報編集特別委員会

委員長／猪狩一郎 副委員長／江原利勝 委員／櫻井優好 鈴木英吉 高橋益枝 中野信二 栗原恒治